

令和4年4月12日(火)
国土交通省関東地方整備局
京浜港湾事務所
横浜市港湾局

— 記者発表資料 —

○大黒ふ頭P3・P4岸壁(水深 7.5m、延長 260m)及び荷さばき地の再整備が完了し、P3岸壁(水深 12m、延長 290m)として、4月15日から供用を開始します！
○これにより、隣接するT3～T8岸壁と合わせると、大型の自動車専用船が5隻同時に着岸可能な我が国最大級の延長 1,400m の連続バースとなります！

横浜港の主要輸出品目は完成自動車であり、大黒ふ頭は「東日本最大の自動車取扱拠点」です。令和4年4月1日には、横浜港埠頭株式会社により大黒ふ頭C4コンテナターミナルの自動車ターミナルへの転換が完了したところです。

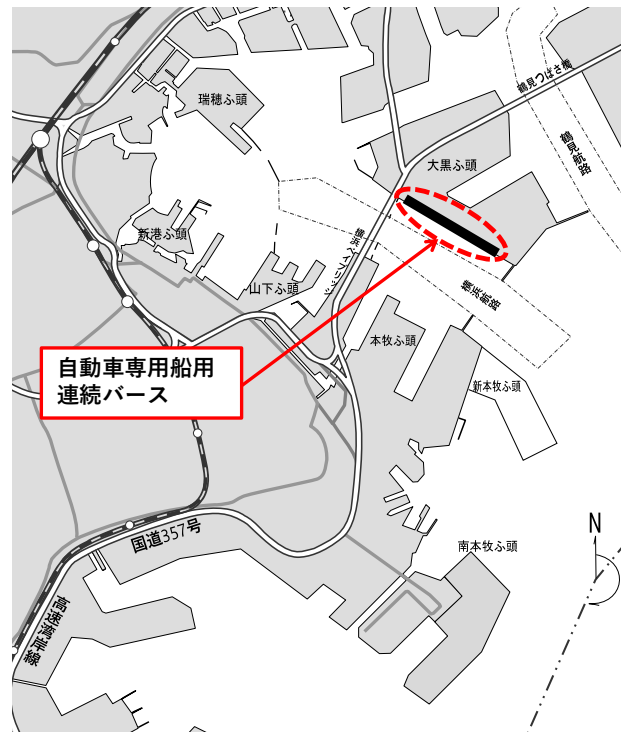
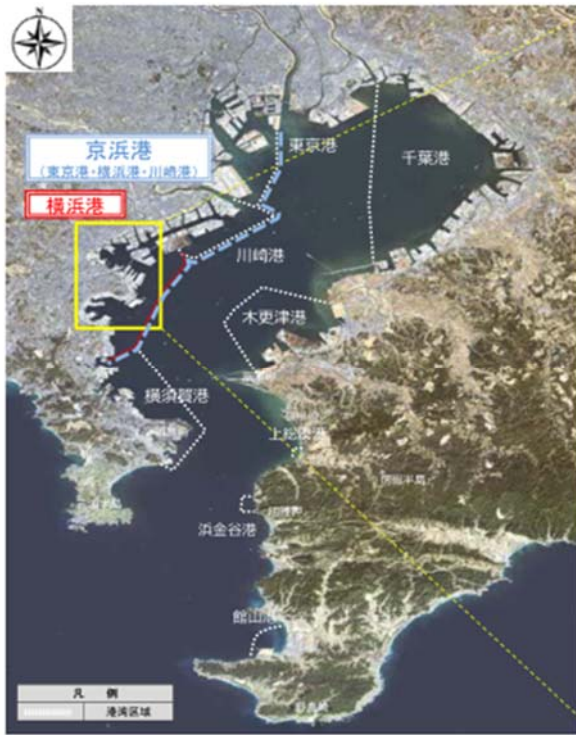
国土交通省と横浜市では、平成27年度から自動車専用船の大型化や着岸隻数の増加に対応するため、大黒ふ頭の横浜航路側のP3・P4岸壁の水深を 7.5m から 12m に深くし、延長を 260m から 290m に延伸する改良工事や、荷さばき地の拡張等を進めてきました。

この度、再整備が完了し、P3岸壁として4月 15 日から供用を開始します。隣接するT3～T8岸壁と合わせると、全長 200m 級の大型の自動車専用船が5隻同時に着岸可能な我が国最大級の延長 1,400m の連続バースとなります。

これらにより、大黒ふ頭は大型の自動車専用船が 11 隻同時着岸可能な日本最大級の自動車取扱拠点となり、横浜港の自動車取扱機能の更なる強化が実現します。

発表記者クラブ	
竹芝記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、物流専門誌	
問い合わせ先	
○国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所	
副所長	内竹 敏秋(うちたけ としあき) TEL:045-226-3740
○横浜市港湾局 港湾物流部	
物流企画課長	氏家 治(うじいえ おさむ) TEL:045-671-2714
<自動車取扱機能強化について>	
物流運営課担当課長	山本 智(やまもと さとる) TEL:045-671-2919

■ 横浜港大黒ふ頭位置図



■ 大黒ふ頭 自動車ターミナル配置平面図



※これまでのP3, 4岸壁(-7.5m, 260m)は、P3岸壁(-12.0m, 290m)に名称を変更し運用します。

■ 施設概要

施設名	水深 () は計画	延長	対象船舶	
P 3 (旧 P 3, 4)	12m	290m	自動車船 70,000GT級	旅客船 220,000GT級
T 3～6	10～11m (11m)	740m	自動車船 60,000GT級	旅客船 220,000GT級
T 7～8	10～11m (11m)	370m	自動車船 60,000GT級	

※P 3 岸壁の供用は令和4年4月15日を予定しています。

※SOLAS 条約に基づく保安上の出入管理の対象内です。

■ 完成写真 P3・T3～T8全景

